

売り買いだけの株から 生かし育てる株へ

～グローバルな視点に立った株式投資のあり方を目指して～

ID番号 SL400659

福岡県立修猷館高等学校

チームリーダー 1年 馬場 祐輔
チームメンバー ・1年 加来 建人
・1年 佐野 恭兵
・1年 清水雄一郎
・1年 松田 宇貴

指導教諭 藤田 昭男 先生

購入銘柄一覧

銘柄コード	購入額	銘柄名
3891	40万	ニッポン高度紙工業 (店頭)
4502	75万	武田薬品工業 (東証1部)
4554	30万	富士製薬工業 (店頭)
4563	35万	アンジェス エムジー (東証マザーズ)
5185	40万	フコク (店頭)
5983	30万	イワブチ (店頭)
6758	50万	ソニー (東証1部)
7203	75万	トヨタ自動車 (東証1部)
7713	25万	シグマ光機 (店頭)
7843	30万	幻冬舎 (店頭)
7857	35万	セキ (店頭)
8126	30万	三光純薬 (店頭)

1、まえがき

僕たちは、このバーチャル株式投資を始めるまで人並み...否！それ以下の株の知識しか持ち合わせていなかった。『株』という言葉を知っていても、なぜそれが必要なものであり、またどのような基準で、購入したらよいのかということ等、分からないことだらけだった。そこで、まず僕たちは株についての知識を得ることにした。テレビ、新聞、インターネット etc...。いろいろな資料から株についての情報を収集しようとしたが、スタートの段階から、僕たちを悩ませるものがあった。それは、当たり前のように使われている専門用語の数々だ。難解な文章は、『株』へアプローチしていく上での大きな壁だった。

今日の日本では子供たちの社会への関心不足が問題になっているが、これは、子供たちに、そのような環境が与えられていないこともあるだろうが、子供たち一人一人にもっと自分から学んでいこうとする主体的な姿勢が欠けていることも大きな原因だと思う。受け身な学習では、そこに疑問を抱いたりより深く追求していこうとする関心意欲は育つはずがない。これらのことから、今回、このような機会を与えてもらったことは、僕たちが、自分から追求し、それを自分のものにしていこうとする主体的な学びの姿勢を育てる大きなチャンスとなった。僕たちは、国語辞典や用語集等に首っ引きになりながら、株についての知識を人並みに得る努力をしていった。

2、テーマ設定の理由

僕たちは、「自主テーマによるポートフォリオ学習」に取り組む前に、まず準備段階として、仮想資金 100 万円を使っての【バーチャル株式体験学習】を行い、現実により近い形での投資を始めた。当初、僕たちは自分たちの興味のある企業に何も考えずに投資をして上がり下がりのみを楽しむだけに過ぎなかったが、日を重ね、株の売買を繰り返すうちに株価の上がり下がりを見越して、投資した企業の伸びてゆく姿を見ることに喜びを感じるようになった。僕たちは 100 万円での【バーチャル株式体験学習】を通して、投資家は、株で自分の利益だけを考えるのではなく、自分たちの力でその企業を伸ばすこともできるのではないかと考えるようになった。

今の社会には、大きく分けて「大企業」と呼ばれ日本の経済を引っばっている企業と「中小企業」と呼ばれる、これからの日本を大企業に続き、引っばっていくであろう企業がある。日本には近年稀にない不景気の風が吹いていると言われる。大企業でさえ倒産することが珍しくない現在において、この中小企業がどのくらい活性化するかが、日本の景気を左右する鍵になるのではないだろうか。今まで、資金的に基盤がしっかりしていなかったことが原因で、目立たなかった企業の中に、これからの日本を引っ張っていく力を秘めている企業がきっとあるはずだ。そういう企業に投資することによって、国民一人一人が、ただ茶の間でテレビや新聞を見ながら「日本の景気はどうなるんだろう...」と心配するだけでなく、自分たちの手で日本の不景気を吹っ飛ばすことができれば、どんなにすばら

しいことだろうと思った。

しかし、株は1人で1企業の株を持ちすぎるとその企業次第で破産する可能性があることも事実である。だから、株によって、大きな利益を得ようと願う人は、買った株の上がり下がりに一喜一憂し、危険だと感じたらその株を手放し、他の企業に乗り換える。一端売りに回った企業の株価は一層下がり、実質以上に経営が悪くなるという悪循環が生まれてくる。これは、長い目で見れば日本全体の景気にも悪影響を及ぼすものだと考えられる。

僕たちはこういう視点から、多くの人が株のことを勉強し、自分の経済状況に応じて、無理のない程度の額で、自分たちが頑張りたいと思う企業に投資することが、日本経済の活性化に寄与することになると考えた。そして、その企業を見守り成長させていくことで、多くの優良企業が力をつけ、日本の経済を発展・安定させていけるのではないかと考えた。これは、言うのは簡単だが実行に移すのは、なかなか難しいことだろう。まず、どの企業が、日本のこれからはプラスとなる企業であるかを見極める目を一人一人が持たねばならないだろう。そのためにも「優良企業」と判断するための視点をはっきりさせなければならない。もちろん、大企業もしっかりとした地盤を持っていなければ、日本の経済は揺らいでしまうだろう。だから、僕たち投資家は、日本のよりよい未来を担う可能性を持った中小企業を見つけると同時に、大きいというだけではなく、しっかりとした企業理念を持って日本をリードしてきた大企業についても、しっかりと目を向けていかねばならないと考えた。そして、これらの考えから、僕たちは、チームのポートフォリオのテーマを「 売り買いだけの株から生かし育てる株へ 」とした。

3、企業選択の視点

企業を選ぶ上では、以下のような視点を持ち、そのいずれかをクリアーしているかを考え選ぶようにした。

- ・ 環境問題に貢献している。
- ・ エネルギーの問題に取り組み、生物に安全なエネルギー開発に努力している。
- ・ 利益追求だけでなく、社会福祉にも目を向けている。
- ・ 人々の心や暮らしを豊かにすることに貢献している。

企業は、以下のように大きく二つに分けて考え、選ぶことにした。

A , 大企業と呼ばれる日本の経済の先頭にたち引っぱっていく企業。

・ 3つの企業は、それぞれ分野が異なっているが、日本を引っ張っていく企業として、環境問題に真剣に取り組んでいるという点で、評価できる。

B , 中小企業の中にいるが最近、伸びが大きな企業や今はまだ大きいとは言えないが、見守り成長させていきたい企業。

- ・ 大半に環境問題の配慮が行き届いている企業が名を連ねた。もう一点、注意して見たところはその企業の経営理念や方針やコンセプトである。

中小企業の定義

業種	資本金規模	従業員規模
製造業・その他	3億円以下	300人以下
卸売業	1億円以下	100人以下
小売業	5千万円以下	50人以下
サービス業	5千万円以下	100人以下

中小企業の定義は中小企業基本法第2条に規定されており、
資本金規模と従業員規模のどちらか一方にあてはまれば中小企業となる。

4、選んだ企業

～ Aの企業～

・武田薬品工業（東証1部）

医薬品の大手で、「優れた医薬品の創出を通じて人々の健康と医療の未来に貢献する」を経営理念に世界にも数々の拠点をもち、環境問題に関してもたくさんの活動を行っている。

・ソニー（東証1部）

日本を代表する最大手の企業。電子機器や家具等の製造においては世界の最先端で世界でも有数の企業である。世界の拠点も数多くあり、環境活動においてもたくさんの活動を行いリサイクルに関しても徹底している。まさに日本経済を引っばっている企業である。

・トヨタ自動車（東証1部）

日本ではもちろんのこと世界でも名前を知らない人はいないというくらいの自動車工業の最大手の企業。「自動車をとおして豊かな社会づくり」を経営理念に世界でたくさんの活動をしている。環境活動はもちろんのこと交通安全活動や社会貢献活動にも数多く貢献している。日本の経済だけでなく世界の経済も引っばっている企業である。

～ Bの企業～

・ニッポン高度紙工業（店頭）

「顧客満足」をモットーとし、名前はNKKとしても知られている。介護福祉の商品にも力を入れている。環境保護にもきちんと配慮がいきわたっておりがんばって欲しい企業である。社会問題になっている介護福祉の方にもこれから、どんどん力を入れて欲しい。

・富士製薬工業（店頭）

「医薬品を通じて社会に貢献する」「企業の成長はそこに働く人々の成長に正比例する」を経営理念として、ひとに尽くす活動を行っている。とても、薬を使う当人のことを思いやってくれてるのがわかる社風の企業。

・アンジェス エムジー（東証マザーズ）

「人類が授かった尊い遺伝子の力を借りて画期的な遺伝子医薬を開発し、人々の健康と希望にあふれた暮らしの実現に貢献する」を経営理念に日々の活動を行っている。今、注目されているベンチャー企業で無限の可能性を秘めている。日本の経済に新しい風をふかせることのできると思う企業。

・フコク（店頭）

多種多様なニーズに応える「YES, WE DO!」を経営理念とし、環境のこともしっかりと配慮しており、製品の医療品の部類でも品質の良さで高い評価を得ている。創業50年の伝統ある企業。

・イワブチ（店頭）

「社会への貢献」「信頼と技術」「個人の尊重」を経営理念に環境問題にも配慮が行き届いている。興味を持ったのは品質をととても重んじる社風で客である僕たちのことを考えてくれるのが伝わってくる。このような企業の成長を見守っていきたい企業。

・シグマ光機（店頭）

「光周辺技術の総合化」をコンセプトにして、環境、品質ともに配慮が行き届いている。バイオ・テクノロジーの関連製品にも力を入れているところに注目した。成長が楽しみな企業。

・幻冬舎（店頭）

ここ数年でかなり力をつけてきた企業。成長が鈍らないようにこれからもどんどんがんばって欲しい企業。

・セキ（店頭）

「人から人へ情報・印刷コミュニケーション」を基本コンセプトとして、環境はもちろんのこと品質保証にもしっかりと配慮が行き届いている。興味を持ったのは、情報保護活動に力を入れているところである。個人情報に対する考え方をとても重んじている。

・三光純薬（店頭）

「一人ひとりが法令と倫理を遵守したビジネス活動を徹底し、いかなる医療システム下に

においても存在意義のあるヒューマンヘルスケア企業」を目標としている。バイオ・テクノロジーにとっても力が入っており、これからの医学界での活躍がとて期待できそうな企業。

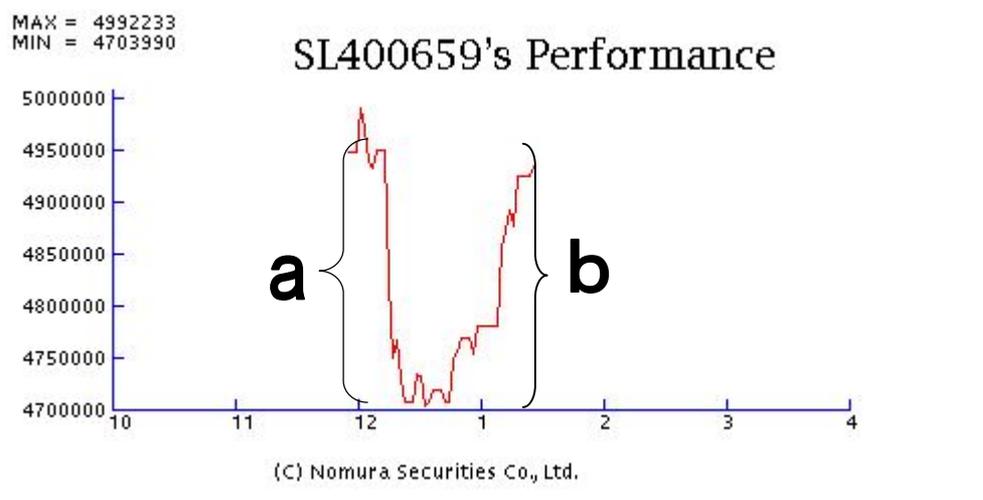
5、予想

四月頃の日経平均株価が七千円台だった頃から比べるとかなり日経平均株価は安定して北と考えられる。しかし、イラク問題や北朝鮮の拉致問題等、日本を取り巻く世界情勢には、まだ不穏なものを感じられ、安定とはほど遠い状況にあると言える。

僕たちのチーム選んでいる中小企業が大半を占めるBグループの株は、資金的な基盤がしっかりしていないため、大きな上がりを目指すことは元々困難である。これらのことをふまえると、Bグループにおける僕たちの投資金が、下がる傾向にあるのではないかと予想される。

しかし、Aグループの三つの大企業は資金的にも基盤がしっかりしているため、不安定な政情から、一般投資家が安定株の買いに回るのではないかと予想される。また、Bグループは異なった業種の企業を選んだのでリスクの分散になっているため、大きな下がりも防ぐことができるのではないかとと思われる。特にオリンピックの年は景気の流れが上向きになることが多いと聞きます。短い期間だけれど、その兆しを垣間見ることができるのではないかと思います。

6、結果



上のグラフは、僕たちが投資した全企業の評価額の推移である。自分たちが予想していた以上に、かなり下がっていた。やはり、株は、僕たちが考えていたよりもずっと難しいものだった。この株価の動きには二つ気になることがあった。それは、上の図のaとbで

示している大きな下がり方と上がり方である。この大きな変化の主な原因を以下の二つのことにまとめてみた。

原因 1、上のグラフの a で示した大きな下がり方について

a の下がりの時期はイラクでテロが多発していた。特にイラク北部のティクリット近郊で殺害された在英大使館の奥克彦大使 (= 参事官) と在イラク大使館の井ノ上正盛一等書記官 (= 書記官) 殺害という胸を強く打つ事件があった。このような**世界情勢の荒れ**が、日本にも実質的に波及してきたことに、多くの投資家が危機感を感じて投資に対して慎重になり、一時的に株が大幅に下がる結果になったと考えられる。

原因 2、上のグラフの b で示した上がり方について

この株価が上がり始めたのは丁度、イラクの元フセイン大統領が捕まった時期だった。この時期くらいから日本の投資家たちの世界情勢への緊張もほぐれたのではないかと思う。他にもこの二つの大きな上がり下がりの原因はあるかもしれないが、世界の情勢の動きが日本の株価にも大きく影響することは間違いないと感じた。今年の世界的大祭であるオリンピックで少しでも世界の情勢が良い流れになることを願う。

自分たちの個々の投資した企業について

業種を分けたことによってリスクの分散をしていたので安心していたが、結果は全く理論通りにはならなかった。B グループの企業はどれも下がっていた。このことで、株の難しさをしみじみと実感することができた。原因としては上に記した原因 1 が大きいと思う。しかし、A グループの企業は予想以上の結果で、どれも上がる傾向にあったことは素直に嬉しかった。しかし、反面、大企業の強さをまざまざと見せつけられる思いも、企業を育てることの難しさも痛感させられた。

けれど、自分たちが目指している**株の在り方**については、ここではっきりと答えがでるわけではない。自分たちの選んだ株は今下がるかもしれないが、その企業の真価は、短期間の上がり下がりで判断しては、かえって企業にとってマイナスであることは、前述した通りだ。だから、刹那刹那に振り回されずに、気長に成長を見守っていこうと考える。これからの発展に期待したい！！

7、これからの日本経済に向けて

大きな会社はコマーシャルなどを使って、自分たちの会社のアピールをどんどんすることができる。しかし、中小企業はどうだろうか？ 資金的に困っている企業はそんなに広告費に費用を割いてはられない。ベンチャー企業にどれくらいの種類があるのかなどということをほとんどの人は知らない。このままでは、応援して欲しい企業はいつまでたっても成長の兆しを見出せないのではないだろうか？ 株主総会を活用することも必要だろう。もっと、中小企業にも自分たちの仕事をアピールする機会や場が与えられたらと思う。また、新しい考えや発見がなされるように、技術開発に対して国としての援助があってもよいのではないかと思う。日本の経済も変わるかもしれない。そして、何より僕たち一人一人が

もっと経済に関心を持ち、勉強したり、情報を収集したりすることが大切だと思う。
日本経済を担っていくのは、僕たち一人一人の知恵と努力なのだという心意気を持ちたい
と思う。

8、ストックリーグを通しての感想

僕たちはポートフォリオのレポートを作りながら、株式について調べていくうちに株式の
いろいろな表情を垣間見ることができた。仮想資金500万円の仮想体験でも自分たちの
選んだ企業が毎日、どんな成長を見せているか、まるで可愛いペットの成長の様子でも見
るかのような毎日だった。小さな頃からの株のイメージといえば失敗して破産する...とい
うようなイメージしかわかなかったけど、株の見方が180度変わった気がする。最近、
ドラマ等で株のことを題材にした番組を時々見るようになった。どんな形であれ、もっと
多くの人に勧めたいと思うようになった。これからも大人になるまで株とは縁が切れない
かもしれない。

今の日本に大事なものは若い力だと言われている。週休2日になって学力の低下が騒が
れているが大切なのは内容の根本だと思う。学ぶことの全てが自分の未来の生活や生き方
に大きな影響を与えるのだという気構えで学習に望みたい。そうすれば、培った計算力を
株式の計算に生かすことができるであろうし、国語力は、難解な株式の文章を理解するた
めに大いに役立つだろう。今回僕たちは、教科書をそのまま学習するのでは、学ぶこと
のできない株式について追求していく機会を得たが、このことで、一番感じたことは、自
分から調べてみない限り、答えは見出せないという当たり前のことだ。しかし、この根本
的なことを実感することによって、学ぶことの本質を少し理解できたような気がする。株式
について学習して、分かったのはその奥の深さだ。その仕組みを少しばかり理解しても、
実際に株を動かすと、とても大変で簡単にはいかないと言うことがよく分かった。
だからこそ感じたことは、もっと、日本の経済を小さな頃から身近に感じることを
できるような環境を広げて行って欲しいということだ。若い世代の学ぼうとする気持ちと興味を
持てる環境があって、初めて日本経済の未来を担っていくための大きな力が育つのでは
ないかと考える。

今回はこのような貴重な体験をさせていただき、将来につながる大変良い経験になりま
した。これからは、株がもっと人々の身近な物となって、無謀な投機の対象となるよう
一部の株の悪いイメージから、未来の可能性を広げる良いイメージへと一層進化して
いってくれることを心の底から期待します。本当に有意義な体験になりました。このよ
うな良い機会を与えて下さって誠にありがとうございました。